

# 世界に翔く宮崎牛

1999年4月号

No.24



我が国の畜産の発展はもとより、国政全般に多大なるご功績をあげられた江藤先生の叙勲受賞祝賀会が開催されました。

(1月30日ワールドコンベンションセンターにて)



児湯農業改良普及センターが「畜産大賞」  
指導支援部門で優秀賞を受賞！



マリンブルーが注目を浴びる「宮崎牛」  
輸送トラック（くみ食高崎工場にて）

## 4月号 目次

- 牛も人も安全・楽ちん～宮崎・南那珂・児湯・高千穂に誘導レールが登場～ from.子牛基金協会 ..... 2
- 黒木和己さん、全国大会で発表！～全国肉用牛経営発表～ from.畜産会 ..... 2
- 発生予防のためにワクチンを接種しましょう from.県畜産課 ..... 3
- 事業紹介  地域マル繁事業に加入して安心できる肥育経営を！  
～肉用牛肥育経営安定対策事業～ from.畜産会 ..... 4
- 児湯農業改良普及センターが最優秀賞！～畜産大賞支援指導部門～ from.畜産会 ..... 6
- 高能力種雄牛相次いで誕生～間接検定で証明～ from.家畜改良事業団 ..... 6
- 小学生の快挙～第50回県畜産共進会記念大会より～ from.家畜登録協会 ..... 8
- 今後の行事予定(登録検査日程・子牛セリ日程) from.家畜登録協会 ..... 8

情報誌「世界に翔く宮崎牛」発行協賛団体

●宮崎県経済農業協同組合連合会 ●宮崎県肉用子牛価格安定基金協会 ●宮崎県家畜改良事業団 ●宮崎県家畜登録協会 ●宮崎県畜産会

**牛も人も安全・楽チン！**  
～宮崎・南那珂・児湯地域家畜市場に誘導レールが登場～



宮崎中央農業協同組合家畜市場にて



南那珂地域家畜市場にて

係留所から競り場までの牛専用の誘導レールが設置されました。

「牛の移動が楽になった」と生産者に大好評です。

3月には、高千穂地域家畜市場にも登場します。



児湯地域家畜市場にて

**黒木 和己さん、全国大会で発表！**  
～全国肉用牛経営発表会～

優秀な肉用牛経営が集う平成10年度全国肉用牛経営発表会(主催：全国肉用牛協会)は本年1月27日に東京の全共連ビルで開催され、各地区ブロック大会を勝ち抜いた7事例が参加、その経営内容を競いあつた。

九州・沖縄ブロック代表として出場した都濃町 黒木 和己さん(45才)は「私の肉用牛肥育経営の歩み25年」と題して経営内容を発表し、自給粗飼料の生産や、きめ細かな飼養管理などによって確立された肥育技術及び経営全般が評価され、栄誉ある畜産局長賞の受賞となつた。

**肥育成績**

区分	7年次	8年次	9年次
常時飼養頭数	175.7	179.8	183.6
もと牛導入月齢 (ヶ月)	10.1	9.9	9.7
もと牛導入時体重 (kg)	255	246	249
出荷時体重 (kg)	659	650	665
D G (kg/日)	0.64	0.63	0.66
枝肉重量 (kg)	405	412	421
肉質4等級以上率 (%)	75.0	95.5	88.5
対常時頭数当たり事故率 (%)	1.7	2.8	0.5

## 牛の異常産が多発しています 発生予防のためにワクチンを接種しましょう

アカバネ病など牛に異常産を引き起こす伝染病が全国的に発生しています。これらの異常産は、蚊やヌカカなどにより媒介されるウイルスが原因で起こります。

### アカバネ病

成牛は無症状ですが、妊娠牛では流産、死産、早産を起こし、出生子牛には関節弯曲などの体形異常と大脳欠損などの脳の異常が特徴的です。

本県では、2月12日現在6市21町2村で、80頭（乳用牛10頭、肉用牛70頭）がアカバネ病と診断されています。

### アイノウイルス感染症

アカバネ病とほとんど同様の異常産が発生します。

本県では、2月12日現在3市3町1村で8頭がアイノウイルス感染症と診断され、そのうちの6頭はアカバネ病にも感染（混合感染）していました。

### チュウザン病

妊娠牛でも流早死産はほとんどありませんが、出生子牛には虚弱、起立不能、盲目等がみられます。体形異常はまれです。

今回、本県では発生していませんが、鹿児島県では8頭がチュウザン病と診断されました。今年は以下の理由から、宮崎県でもチュウザン病の発生する可能性があります。

- 鹿児島県でチュウザン病が発生した。
- 平成10年の県内における抗体検査で、チュウザンウイルスの小規模な動きがみられた。

### 九州各県の発生状況（確定診断されたもの）

	福岡	長崎	佐賀	熊本	大分	鹿児島	沖縄	宮崎
アカバネ病	75	16	26	27	11	22	5	30
アイノウイルス感染症	17	2	2	6	4	1	1	1

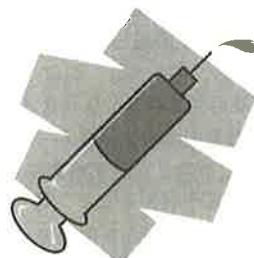
(届出伝染病として報告のあったもの 平成10年12月末)

### 異常産の発生予防方法

ワクチン接種が、最も確実な予防方法です。

### 申し込み、お問い合わせ

牛異常産三種混合（アカバネ病、アイノウイルス感染症、チュウザン病）ワクチンの接種を推進しておりますので、早めに各市町村自衛防疫推進協議会（各市町村役場畜産担当係）へお問い合わせください。



**平成10年度よりスタート**

# 地域マル繁事業に加入して 安心できる肥育牛経営を！

## 肉用牛肥育経営安定対策

### 事業の内容

#### 1 地域事業の発動の要件

枝肉価格の下落により、肥育牛1頭当たりの品種別（肉専用種、その他）の四半期平均推定所得が、四半期平均推定家族労働費を下回った場合に発動されます。事業の発動は、都道府県知事により、四半期毎、品種別に指示されます。

地域事業は、地域毎のデータにより肥育牛生産費を算定し、地域に関係のある市場の枝肉価格で粗収益を算定する方法で発動するので、より地域の実態に合った発動となります。

#### 2 助成金の交付要件と対象頭数

- (1) 事業発動のあった四半期に、肥育牛の出荷があったことが前提となります。
- (2) 助成金の交付対象となる肥育素牛は、事業発動の四半期と次の四半期に導入・自家保留した素牛です。  
なお、助成金交付対象頭数は、事業発動期間の肥育牛出荷頭数（前期よりの繰越頭数を含む）と当該期間の肥育素牛の導入等頭数のいずれか少ない頭数となります。  
出荷した肥育牛と助成金交付対象となる肥育素牛の品種は、違っていても構いませんが、その場合は、助成金交付対象品種に生産者が積立てを行っていることが、条件となります。

#### 4 対象牛の要件

- (1) 出荷肥育牛
  - ア. 対象となる出荷肥育牛は、専ら肉量の増加を目的として、おおむね1ヶ月以上飼養した肥育牛です。
  - イ. 経産牛を肥育したものは、対象となりません。ただし、計画的な1産取り肥育は対象となります。
- (2) 助成金交付対象肥育素牛（導入・自家保留牛）
  - ア. 助成金交付の対象となる肥育素牛は、12ヶ月令未満であって専ら肉量の増加を目的として、導入・自家保留した牛です。
  - イ. 生後6ヶ月令未満で導入した子牛（ヌレ子を含む）及び自家保留牛は、自家で肥育仕向とする場合、生後8ヶ月令になった日を導入日とすることになっています。（これらの牛は、自家保留現地確認書に記入し、農協等の職員等が現地確認することになっています。）なお、6ヶ月令以上で導入した肥育素牛は、購買伝票の日を導入日とすることになります。

#### 3 生産者積立金の納付と助成金交付頭数

- (1) この事業は、肥育牛生産者が肥育経営を安定的に継続していくことを目的とした事業です。このため、生産者の積立金は、品種区分毎（肉専用種、その他）に一括して管理を行います。
- (2) 生産者積立金は、肥育経営安定化計画書の出荷頭数を限度に、品種区分毎の安定化計画の導入頭数に、畜産会等が定めた単価を乗じて算出された額となります。
- (3) 助成金の交付頭数は、上記（2）の品種区分毎の積立頭数（繰越頭数を含む）の範囲内で交付されることになります。
- (4) 全国事業の発動があった場合の地域事業の助成金の交付は、全国事業を上回る分のみとなります。
- (5) 業務年間の3年間が終了後、積立金による基金に残が生じた場合には、生産者が積立てた合計金額の比率により、各生産者に配分することになります。この場合、各生産者に対する助成金交付額とは関係ありません。
- (6) 新規加入の人は、継続加入の人と同じ条件（生産者積立金の単価等）で加入できることになっています。
- (7) 各生産者に支払われる助成金は、各生産者の積立頭数を助成限度頭数とし、交付単価は、積立単価をベースにして、発動段階に応じた単価となります（基金全体で積立金に余裕があるときは、発動段階が積立段階よりもオーバーしても、交付可能となります）。
- (8) 生産者積立金の損金算入  
生産者が納付する生産者積立金は、税法上、損金算入が認められるよう国税庁と話し合いを行っていきます。

#### 5 助成金

肥育牛を出荷し、肥育素牛を導入・自家保留した場合、発動段階に応じて（都道府県知事が発動の指示）その肥育素牛に対し、次の範囲で助成金が交付されます。

ただし、基金の合計額が不足している場合は、基金の支払い可能額の範囲となります。

なお、当該肥育牛生産者の品種別の生産者積立頭数の範囲となります。

1頭当たり

肉専用種	1万円～4万円
その他	5千円～2万円

## 事業のねらい

肉用牛肥育経営は、素牛の導入から肥育牛の出荷まで、一定期間を要することから、素牛価格と枝肉価格の水準によっては経営の悪化が懸念されます。また、肥育素牛及び牛肉枝肉の市場価格の動向は、それぞれ地域によって異なることから収益性についても地域において差異があります。

このような状況に対応するため、平成10年度から、新たに、地域肉用牛肥育経営安定対策事業（地域マル繁事業）がスタートすることになりました。

あなたの、肥育経営を安定させるために、この事業に加入されるようお勧めします。

## 事業加入の手続き

### 農家の皆さんにやっていただくこと

#### 1. 肥育牛助成金交付契約

この事業に参加する肥育牛生産者は、肥育牛助成金交付契約を事業主体である、都道府県畜産会等と締結していただくことになります。

#### 2. 肥育牛生産者積立金の納付

肥育牛生産者は、畜産会等が定める日までに、肥育牛生産者積立金を納付することになります。積立金は、各生産者の素牛導入計画に従って、品種毎に行なうことが肝要です。

#### 3. 肥育経営安定化計画書を農協等へ提出

この事業に参加しようとする肥育牛生産者は、毎年度、農協等へ安定化計画書を提出して下さい。

#### 4. 出荷・導入等実績の報告

肥育牛生産者は、肥育牛を出荷したとき、肥育素牛を導入、自家保留した場合は、農協等へ、出荷・導入の状況を実績報告することになっています。

なお、出荷・導入に伴う伝票類は、助成金交付の際の証拠となるので保存するようにして下さい。

## 児湯農業改良普及センターが優秀賞！ ～畜産大賞支援指導部門～

全国の模範となる優秀な事例を表彰、その業績を紹介する畜産大賞（優秀畜産表彰等事業）が昨年12月、東京の明治記念館において行われ、指導支援部門において児湯農業改良普及センターが優秀賞に輝いた。

審査は学識経験者、行政機関、関係団体等で構成する地方審査委員会および中央審査委員会において、現地確認までが行われた。指導支援部門では、畜産の経営運営に関して、効果的な指導・支援の実績を有し、かつ中・長期的にその成果の持続が見込まれる点を中心に審査され、当センターの購買者ニーズを積極的に取り込んだ研修会開催等により、生産者、技術員、購買者等が一体となった「質と増体に優れた児湯の牛づくり」が評価された。

また、普及活動の展開方法としても、モデル農家や重点対象集団（モデルグループ）の指導の成果を如何に地域全体に広げていくかという点で、当地域の手法は非常に有効であると評価された。

主な成果として以下の点が挙げられている。

- 1. 支援指導体制の整備と機能の充実により、指導の一本化が図られるようになった。**
- 2. 中核的経営、グループ等の活動の活性化とその活動内容が子牛セリ市での研修等に活かされ、個別、集団、全体の流れのできた指導へとつながった。**
- 3. 畜産コンサル等、経営計画の樹立と実践に向けた生産者指導と肉用牛モデル経営体の育成が図られた。**
- 4. 地元の生産者、技術員のみならず、県内外の購買者へのニーズを研修指導の場にフィードバックさせたことにより、生産者に対して「売れるものづくり」への意識づけができた。**
- 5. セリ市場での研修会はその後、県内4市場（児湯を含む）で実施されるようになり、当地域の取り組みがその牽引的な役割を果たした。**

## 高能力種雄牛相次いで誕生 間接検定で証明

### 「糸平福」号 「秀平9」号 「正隆福」号

「糸平福」号は平成7年に佐土原町の永野正純さんによって生産されました。父は大分県で活躍している「糸福」号で、母は「きよふく」号であり兄牛たちには「安平」号・「福桜」号・「菊平福」号などの種雄牛が活躍しております。本牛は父母双方から発育性、増体量、産肉性をよく受け継いでおり、検定では脂肪交雑3.0と全国でも上位に位置づけられ、特にバラの厚さは特筆されます。本牛は幅広い交配が可能であり今後が期待されます。

「秀平9」号は平成8年にJA都城繁殖センターで受精卵移植によって生産されました。父は「糸秀」号であり、母「はつこ」号は平成6年度都城管内で、脂肪交雑の育種価が第1位であることから関係者によって、種雄牛造成に取り組んでこられました。検定では1日当たり増体量、枝肉重量については、本県歴代1位の立派な成績を収め、肉質面でも脂肪交雫3.0と高いレベルのものでした。これから、種牛性、産肉性とも兼ね備えた種雄牛として、本県の改良に貢献するものと期待されます。

「正隆福」号は平成8年に都城市の上原正司さんによって生産されました。父は「糸秀」号であり、母は「はるみの6」号でその産子が県銘柄枝肉共励会でグランドチャンピオンとなりました。枝肉については、肉量は十分であり、肉質面でも脂肪交雫3.1と平成10年度県内でトップの成績を収めました。

今回の間接検定で好成績を収めた3頭の種雄牛が、今後ますます宮崎牛の名声を高めてくれることが期待されます。

間接検定の成績については以下のとおりです。

項目	種雄牛名	糸平福	秀平9	正隆福
父		糸福	糸秀	糸秀
母		きよふく	はつこ	はるみの6
母の父		安福	第20平茂	隆美
生産地		佐土原町	都城市	都城市
生産者		永野 正純	JA都城繁殖センター	上原 正司
終了時体重(kg)		607.8	656.8	607.1
1日当り増体重(kg)		0.92	1.06	0.92
枝肉重量(kg)		363	391	362
ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )		50	51	50
ばらの厚さ(cm)		7.2	6.9	6.7
皮下脂肪の厚さ(cm)		2.1	2.0	2.0
筋間脂肪の厚さ(cm)		5.6	6.6	5.9
推定歩留(%)		74.3	73.9	74.1
脂肪交雑(BMS)		3.0	3.0	3.1



種雄牛「糸平福」号



「糸平福」号の枝肉断面



種雄牛「秀平9」号



「秀平9」号の枝肉断面



種雄牛「正隆福」号



「正隆福」号の枝肉断面

## 小学生の快挙

～第50回県畜産共進会記念大会より～

昨年秋開催された第50回宮崎県畜産共進会において、1人の少女の活躍が話題となつた。

その少女の名は高千穂町在住、林秋廣氏の愛娘「千尋」さんである。

彼女はまだ小学生ながら日頃より愛牛の飼育管理に努め、地域の代表として共進会に臨み、県内のベテラン農家に混り、堂々と長縄で調教するその姿には多くの参観者や関係者に大変な驚きと感動を与えました。

結果は、みごと1等賞に輝き、又その努力に対し、宮崎県家畜登録協会より特別賞が授与されました。

改めましてここに心よりお喜び申し上げますとともに今後益々のご活躍を期待したいと存じます。



堂々と県共に臨まれた林 千尋さん

## 今後の行事予定

○---○ 登録日    ●---● 子牛セリ市開設日    青の文字 黒毛和種成雌牛登録検査日程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	木	金	土	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
<b>4月</b>																															
	東諸 国富	高岡綾	東郷・南郷	北郷・西郷	椎葉・諸塙					北浦・北川・北方 延岡・門川・日向																	肉用牛部会	野尻	高原	みどりの日	諸
1 木	2 金	3 土	4 日	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日	
1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月	
<b>5月</b>																															
	東諸 国富	高岡綾	東郷・南郷	北郷・西郷	椎葉・諸塙					北浦・北川・北方 延岡・門川・日向																	肉用牛部会	野尻	高原	みどりの日	諸
1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月	8 火	9 水	10 木	11 金	12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 日	
1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月	8 火	9 水	10 木	11 金	12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 日	
<b>6月</b>																															
	東諸 国富	高岡綾	東郷・南郷	北郷・西郷	椎葉・諸塙					北浦・北川・北方 延岡・門川・日向																	肉用牛部会	野尻	高原	みどりの日	諸
1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月	8 火	9 水	10 木	11 金	12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 日	

発行所 宮崎県畜産会 0985-24-2674